

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG3 個別支援会議(講義・演習)
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	個別支援会議の運営方法(講義・演習)
○	3 関連する研修目標	①、③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖 社会福祉法人麦の子会 金澤 俊文
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	270分
○	7 到達目標	・個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項を講義により理解する。 ・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者・児童発達管理責任者としての説明能力を獲得する。 ・模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者・児童発達管理責任者の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	事例を通じた演習と全体講義
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布される事例を熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること